

Guide 4 of 5

データ・ファブリックが 果たす役割を理解する

ビジネスで効果的な意思決定を行うためのガイド

2024年までに、

データ・ファブリックの導入は、データの活用効率を4倍に向上させ、人によるデータ管理作業を半減させるでしょう。

出典：Gartner

ほとんどの組織は、データ／アナリティクス (D&A) に関するユースケースの要求に応じて、異種混在のデータ・ソースとアプリケーションから分散データを最適に接続／収集、統合、提供する包括的なデータ管理のデザインに苦労しています。

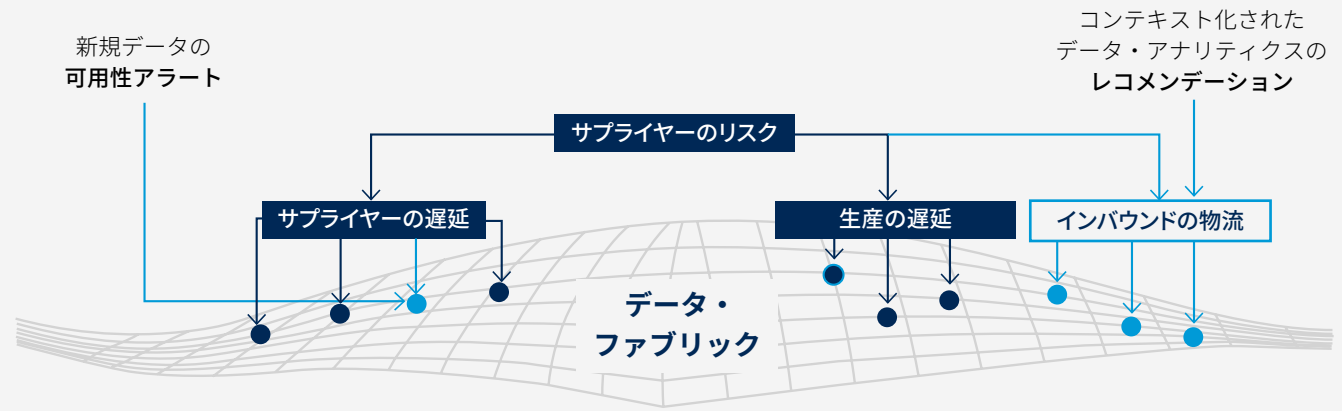
過去 10 年間でデータとアプリケーションのサイロ化が急増したものの、データ・チームの高度なスキルを持つ人材の数は横ばいか、むしろ減少しています。その結果、統合データが要求されたときから、その要求が満たされるまでの時間がこれまでになく長くなっています。

組織では、マルチクラウド・ハイブリッド・エコシステム全体でデータを最適化して統合するだけでなく、データ・エンジニアリング作業を自動化して、複雑さを軽減しつつ、ビジネス上の成果と価値を最適化するデータ管理デザインを必要としています。



Ehtisham Zaidi
VP Analyst, Data Management

データを接続した統合レイヤとして機能するデータ・ファブリック



出典: Gartner

本ガイドの活用方法

準備

1

自社にとってのデータ・ファブリックの意味を定義します。

確立

2

データ・ファブリックから統合データ（およびそれ以上のもの）をあらゆるデータ利用者にどのように提供できるかを調査します。

エンゲージメント

3

データ・ファブリックの価値を主要なステークホルダーに伝えます。

実行に移す際のヒント

4

データ・ファブリックという先進的なイノベーションが達成できることを実験、再考、発見して、そのメリットを生かします。

準備

自社にとってのデータ・ファブリックの意味を定義する

データ・ファブリックとは、異種混在のデータ・ソース全体に拡張されたデータ統合／共有を実現する、データ管理の先進的なデザインです。しかし、その価値を正しく捉えるには、主要なステークホルダーがよく理解できるように、データ・ファブリックを定義する必要があります。

データ・ファブリックとは、先進的なデータ管理デザインです。
単一のツールあるいはテクノロジーではありません。

何を達成するのか	→	柔軟で再利用可能な拡張データ統合パイプライン
何を活用するのか	→	ナレッジ・グラフ、セマンティクス、アクティブなメタデータの ML/AI
何をサポートするのか	→	より迅速で、場合によっては自動化されたデータ・アクセス／共有
何を制約としないか	→	導入オプション、ユースケース (オペレーションあるいはアナリティクス)、アーキテクチャのアプローチ

ステークホルダー向けの定義

データ・ファブリックとは、先進的なデータ管理デザインであり、以下のことが可能になります。

現在、情報の共有／検索を妨げているサイロをまたぐ形でデータを利用する

想定さえしていなかったものも含め、より迅速に洞察を表面化させ、報告する

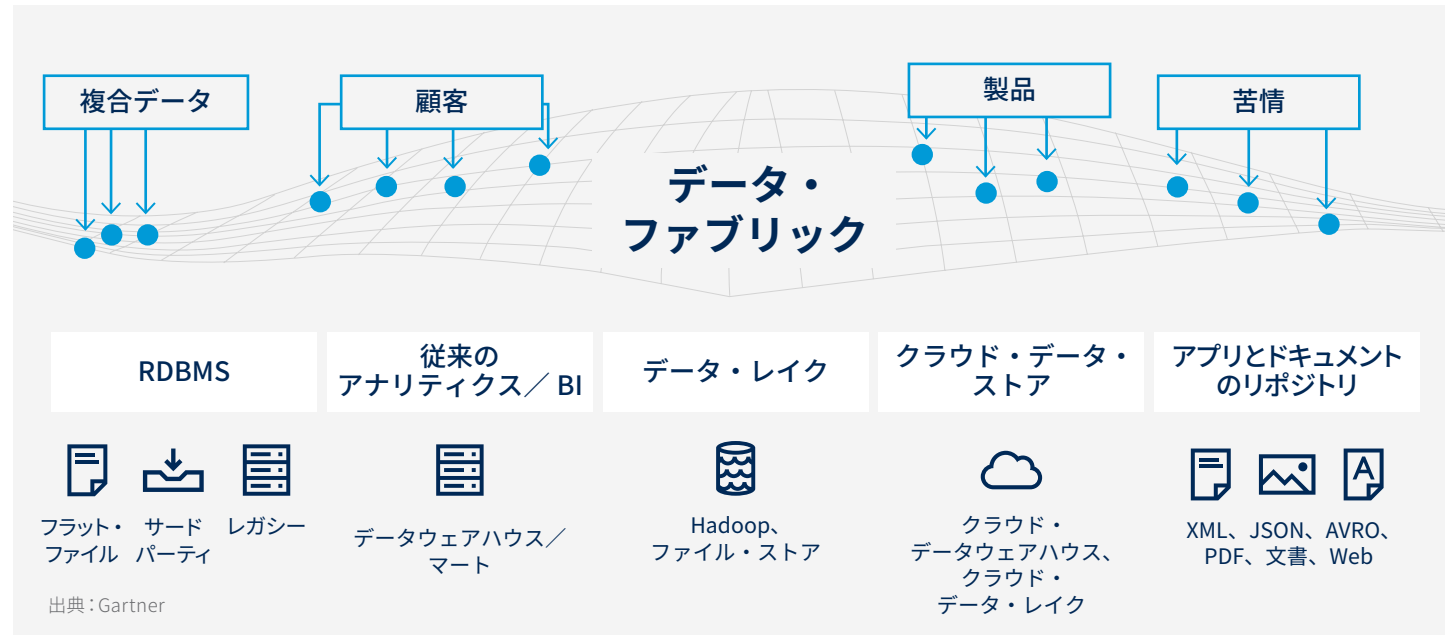
生産性／情報の価値を高める

レジリエンスを構築する

確立

データ・ファブリックから統合データ (およびそれ以上のもの) をあらゆるデータ利用者に提供できるか確認する

データ・ファブリックは究極的には、手作業によるデータ統合作業を大幅に削減し、データ統合のデザインやデリバリーを拡張 (時には自動化) できる見込みがあります。またデータ・ファブリック・アーキテクチャは、どのデータがどこで利用されているかを学習し、より多くの多様かつ優れたデータに関するレコメンデーションを行うことができます。その可能性を最初から理解して、ユースケースを作成します。



以下の Gartner のリソースをご活用いただけます。

- Data and Analytics Essentials**
 データ・ファブリック - データ・ファブリックの原理、なぜ必要なのか、どのように作るのかを説明する基礎的レポート
- Cool Vendors**
 測定可能かつデリバリーに重点を置いたデータ管理に焦点を合わせ、実用性と革新性の両立の限界に挑むベンダーを取り上げた Gartner のトレンド・インサイト・レポート
- Magic Quadrant for Data Integration Tools**
 特定のマーケット管理ベースの設計においてテクノロジー企業を位置付け

*ご契約のサービス内容によっては、本eBookでご紹介しているリサーチを閲覧いただけない場合がございますので、ご了承ください。

エンゲージメント

主要なステークホルダーにデータ・ファブリックの価値を伝える

大半の企業は、意図するビジネス上の成果をデータ・アーキテクチャ／テクノロジーの調達プランに対して、正確に思い描いています。データ・ファブリックについても同様であるべきです。「何のためか」を明確に示す必要があります。つまり、データ・ファブリックの価値提案を、ステークホルダー／チームの主要なビジネス目標やビジネス成果に結び付けなければなりません。

ビジネスの観点

メリット：

- テクノロジーに詳しくないユーザーでも迅速にデータを見つけ、アクセス、統合、共有ができる
- 社内の当該分野の専門家がデータ・モデリング・プロセスの一部を担うことができる
- すぐに使えるデータにアクセスするサイクル・タイムが削減できる

データ管理の観点

メリット：

- データの自動変換／統合によって生産性が向上し、ITリソースに時間の余裕が生まれる
- 余分な機能や重複機能を持つ複数のツールの購入を避けることができるため、コスト最適化のメリットを得られる
- データ統合の自動最適化により、価格対効果や使用資本利益率 (ROCE) が向上する

組織の観点

メリット：

- データ管理者とデータ利用者間のコミュニケーションが良好になることで、協調的な文化が醸成される

実行に移す際のヒント

実験／再考／発見する

データ・ファブリックは成熟するまでに時間がかかるため、考慮すべき重要な項目がいくつかあります。



組み立てが必要

データ・ファブリックは購入できません。ユースケース、デザイン、さまざまなツールに基づいて、開発する必要があります。



インプットが包括的

データ管理イニシアティブの初期段階、特にオンプレミスで導入する場合は、**メタデータがありません**。



人材不足

ナレッジ・グラフ、非リレーショナル・データ・ストア、グラフ・モデリング (RDF など)、クエリ言語 (GraphQL)。このようなスキルを持った人材が社内にいるかを確認する必要があります。



組織文化

既存の文化では、**従来のテクノロジーを投入して問題に対応します**。メタデータ・ドリブンのアーキテクチャは恐らく大きな抵抗に直面します。

イノベーションがまだ初期段階にあるうちに、実験、再考、発見を続けて、データ・ファブリックのメリットを生かします。

実用的で客観的な知見

より良いビジネス上の意思決定を下すために、
以下のようなリソース／ツールを無償でご利用いただけます。

Roadmap

[Enhance Your Roadmap for Data and Analytics Governance \(英語\)](#)

適切なガバナンス基盤を設置します。

Webinar

[データ・ドリブンな企業になるには、誰が何をすれば良いのか](#)

戦略とオペレーティング・モデルを結び付けます。

Resource Hub

[最高データ／アナリティクス責任者 \(CDAO\) の焦点：データ／アナリティクス主導のリーダーシップを確立](#)

D&A を活用して競争優位性を高めます。

Roadmap

[データ／アナリティクスの活用でデジタル化による成長を推進](#)

D&A のベスト・プラクティスに従って戦略を策定します。

本 eBook「データ・ファブリックが果たす役割を理解する」は、「ビジネスで効果的な意思決定を行うためのガイド」シリーズ全五巻の第四巻です。意思決定の継続的な改善を行うために、本シリーズをお役立てください。

[シリーズ ビジネスで効果的な意思決定を行うためのガイド【全五巻】 - 日本語版順次公開予定](#)

1. 意思決定プロセスの課題と着手すべきアクション
2. 価値に基づくデータ／アナリティクスの優先順位付け
3. AI によって意思決定を拡張するタイミング
4. データ・ファブリックが果たす役割を理解する (本 eBook)
5. [Incorporating the Skills and Capabilities Your D&A Organization Needs](#)

Gartner のお客様はクライアント・ポータルでさらに多くのリソースをご利用いただけます。 [ログイン](#)

Connect With Us

ガートナーは、経営幹部およびそのチームに対し、実行可能かつ客観的な知見を提供しています。ガートナーの深い専門知識によるガイダンスやツールは、組織が最優先のビジネス課題についてより迅速でスマートな意思決定を下し、より大きな成果を獲得することを可能にします。

リサーチサービスに関するお問い合わせ

ビジネスを成功に導く Gartner のサービス

www.gartner.co.jp/ja/information-technology

最新の知見をご確認ください

